Azure Boards

かんばんボードによるタスク管理

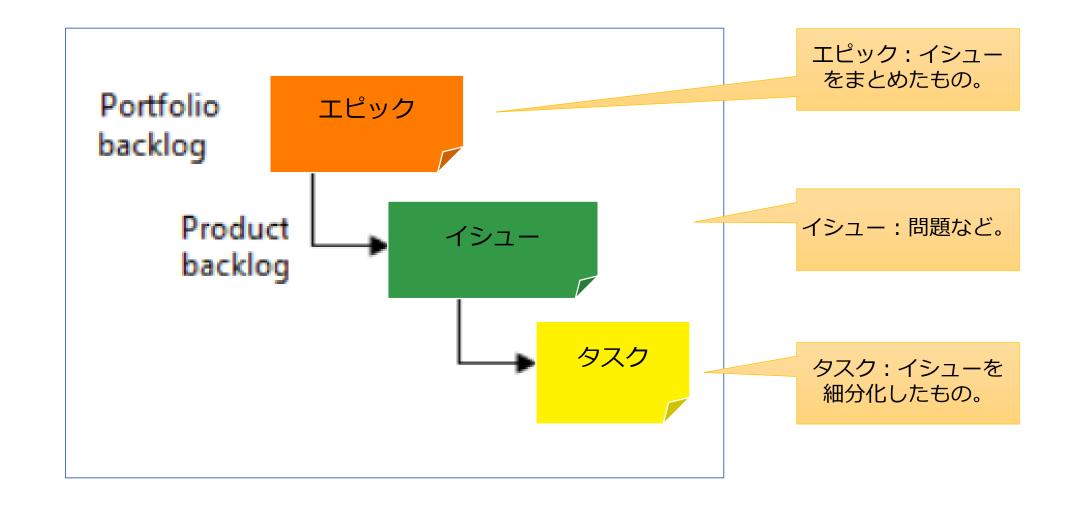
作業項目(Work Item)

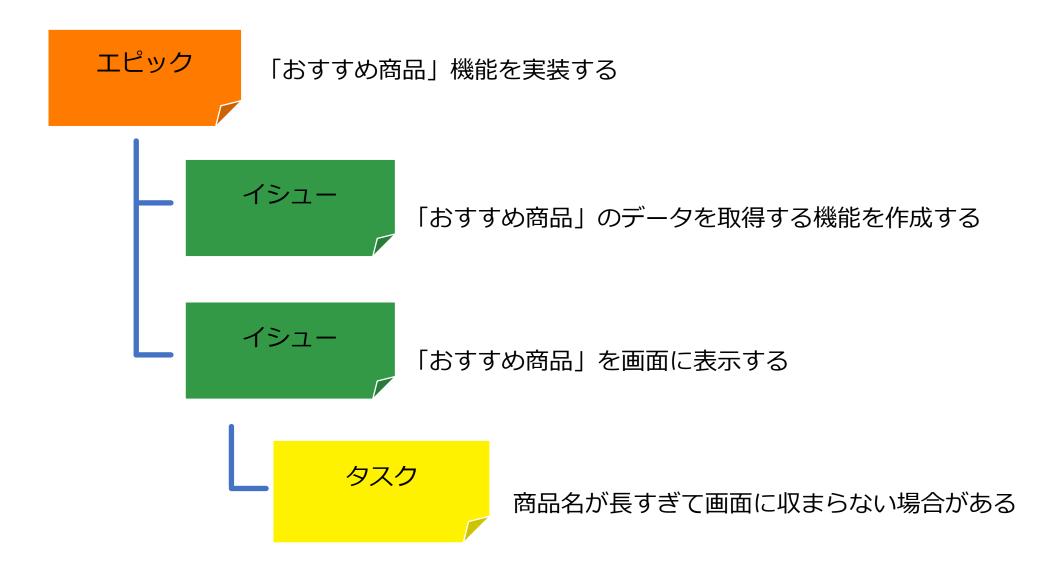
作業を記入する「ふせん」のようなもの。 エピック、イシュー、タスクの3種類。



イシュー

タスク



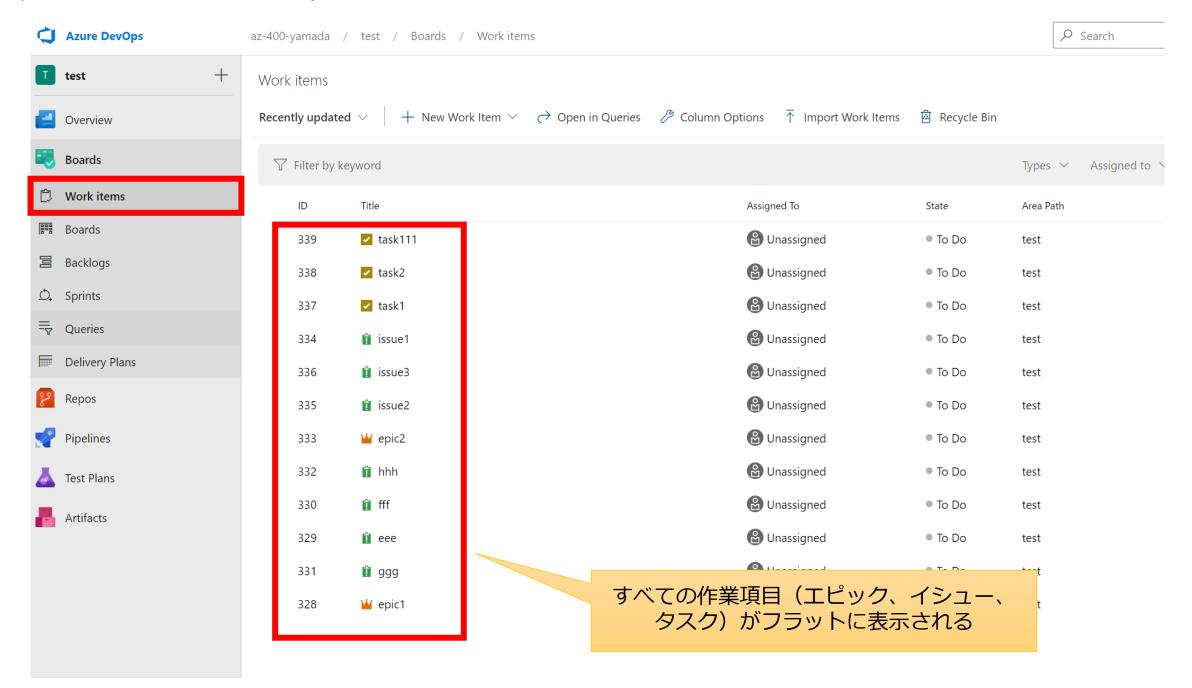


- ※エピックの直下にはタスクは作れない
- ※エピックがないイシューや、イシューがないタスクも作れる

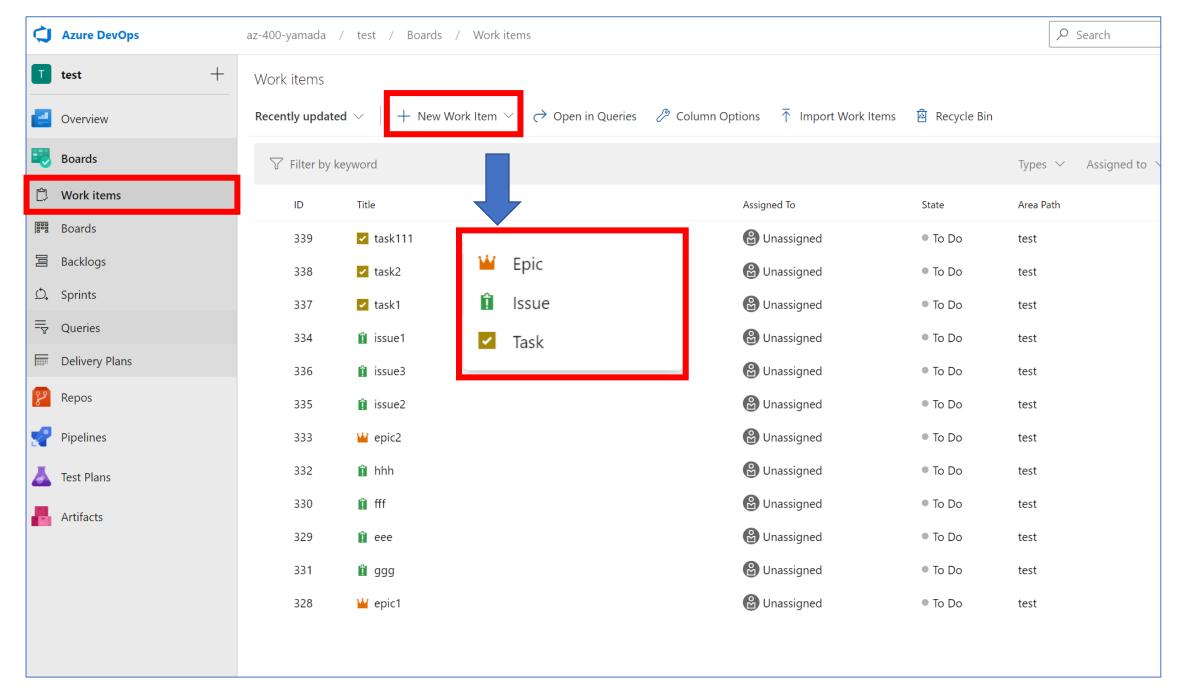
新しい「作業項目」(Work Item)の作成



作業項目の一覧 (Work Items)



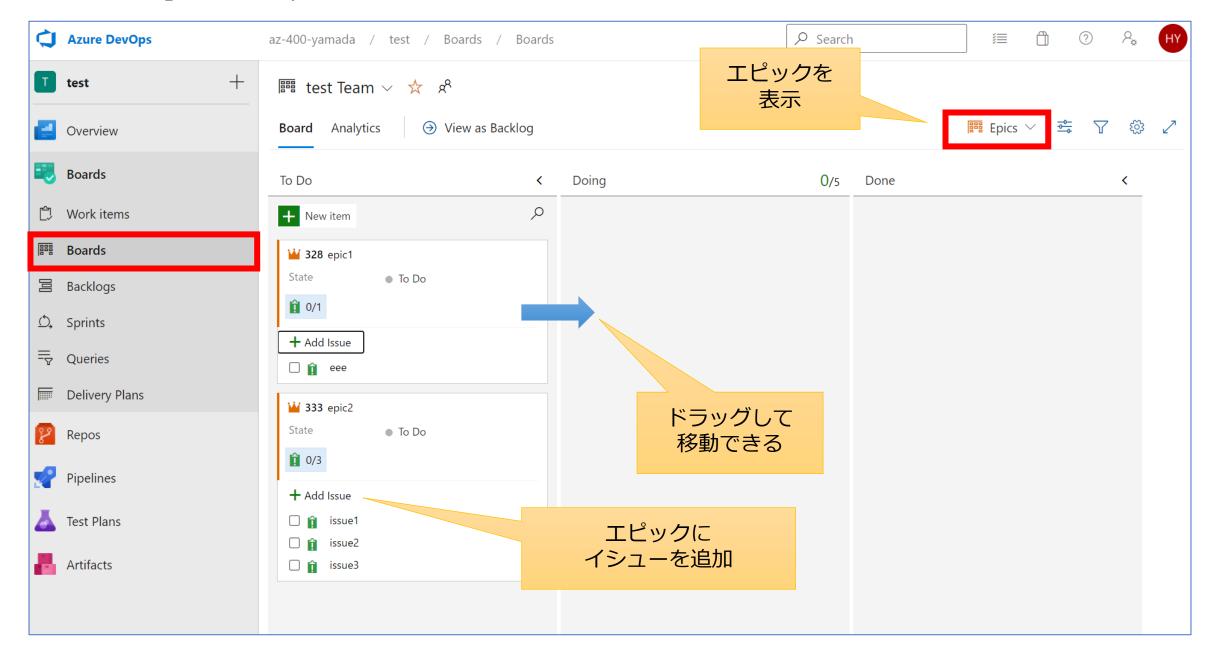
新しい「作業項目」(Work Item)の作成



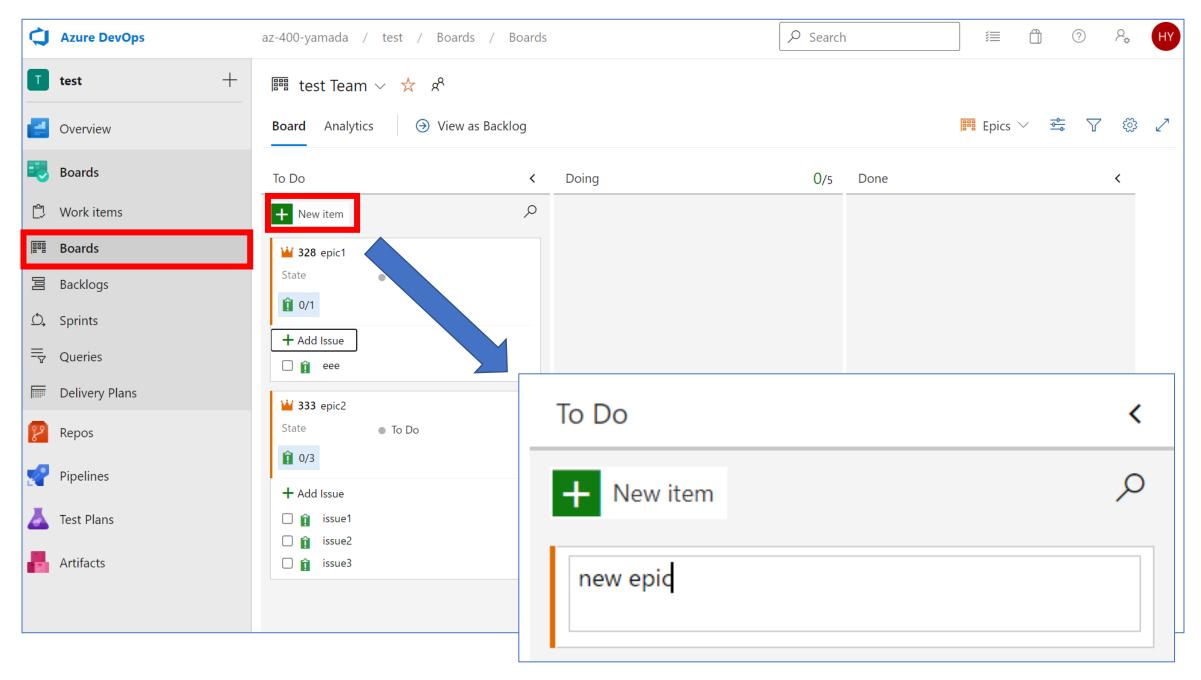
かんばんボード

エピック、イシューの表示・操作 エピック、イシューを「To Do」「Doing」「Done」の3つの状態で管理。

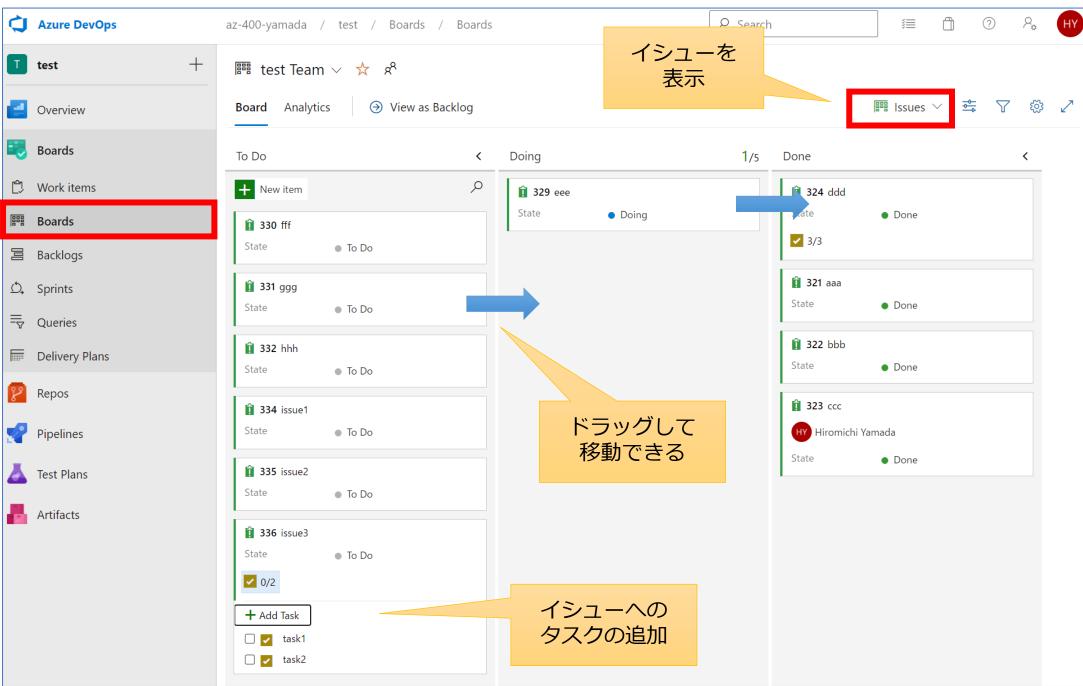
「かんばんボード」(Boards)での**エピック**の表示



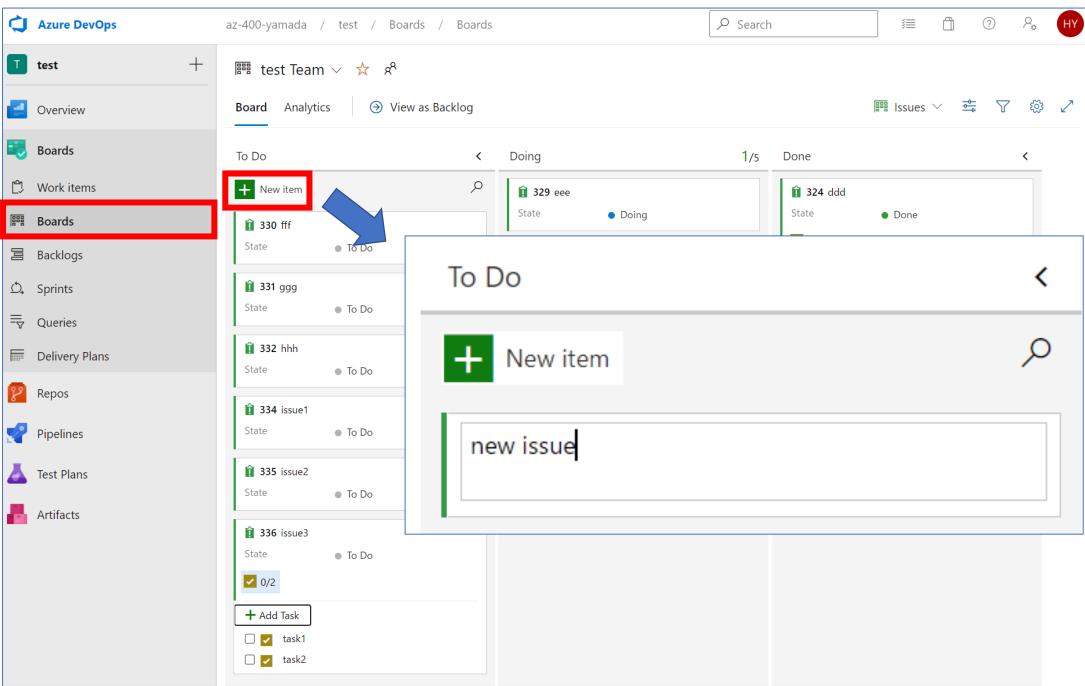
「かんばんボード」(Boards)での**エピック**の作成



「かんばんボード」(Boards)での**イシュー**の表示



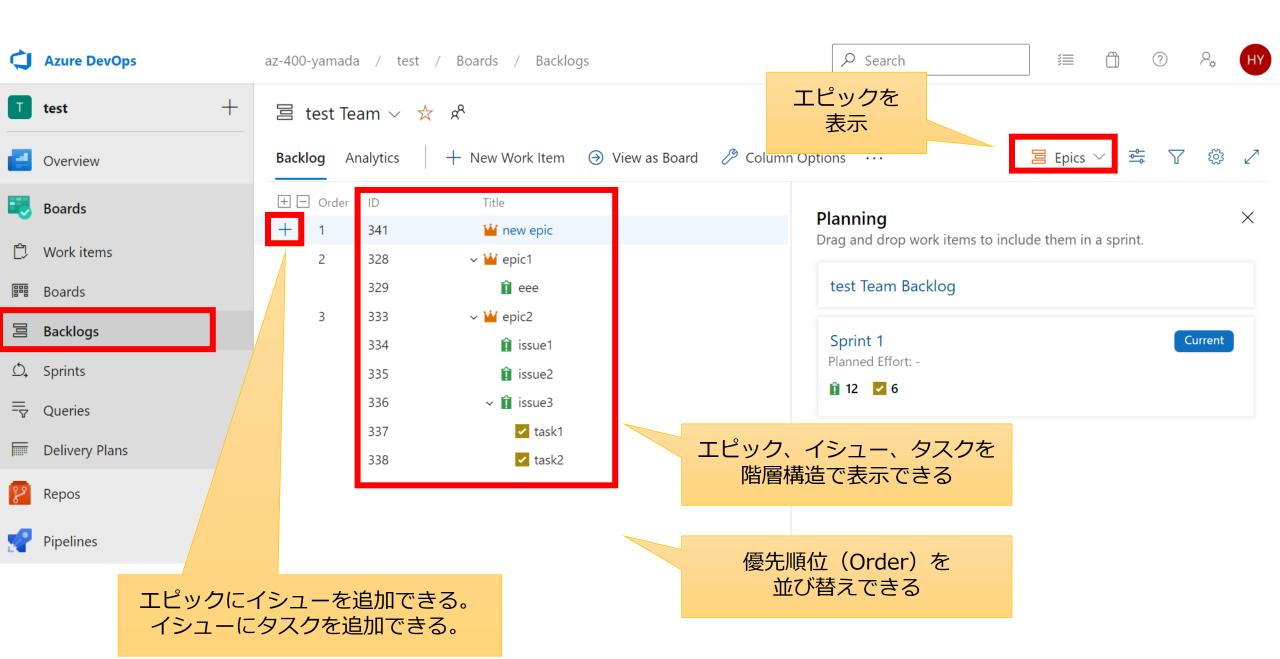
「かんばんボード」(Boards)での**イシュー**の作成



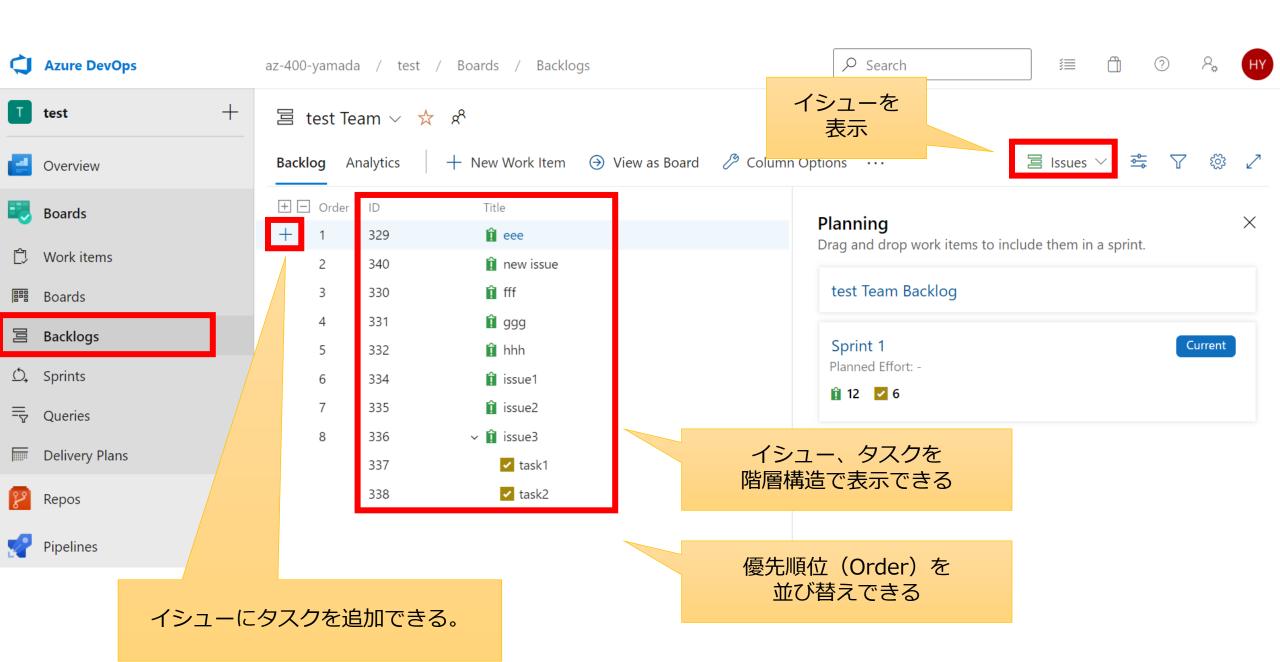
バックログ

作業項目を階層構造で確認。 既存の作業項目に、子の作業項目を作成。 作業項目の優先順位を確認・変更。

バックログでの**エピック**の表示

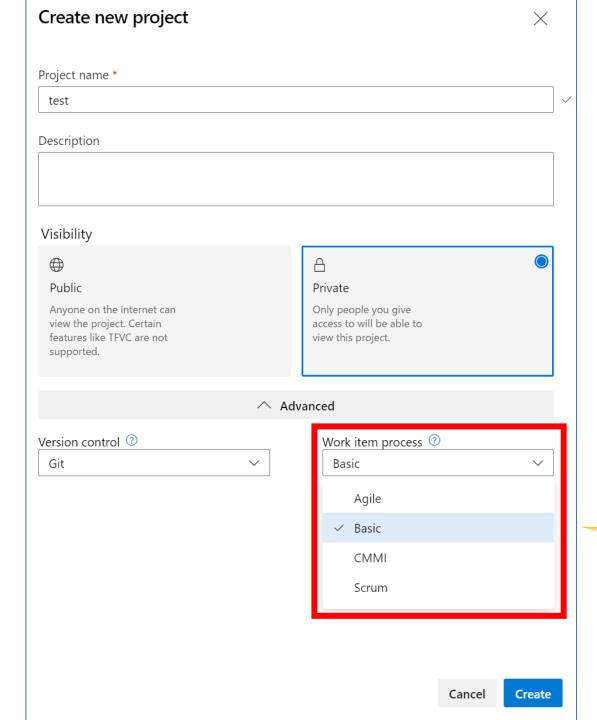


バックログでの**イシュー**の表示

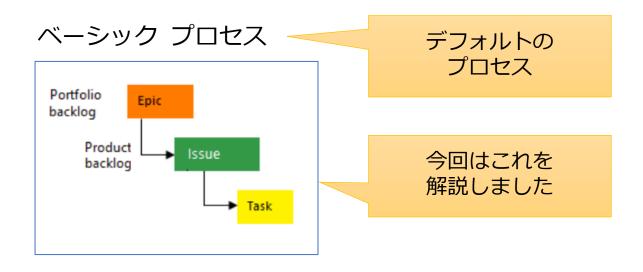


プロセス

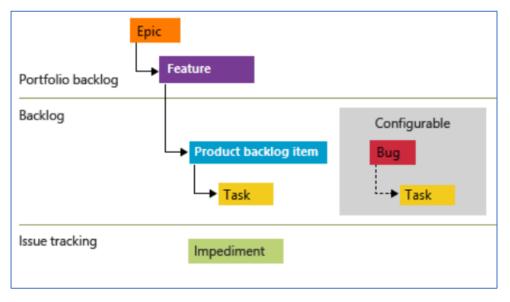
プロジェクト作成時に選択したプロセスで、 作業項目(Work Item)の種類が決まる



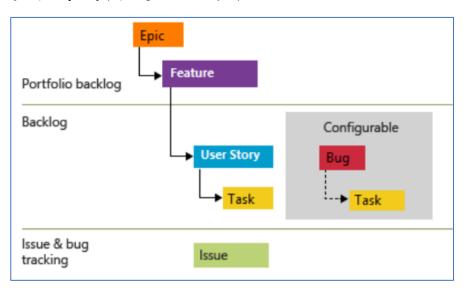
プロジェクトの作成時に、 作業項目(Work Item)の「プロセス」を 選択する。



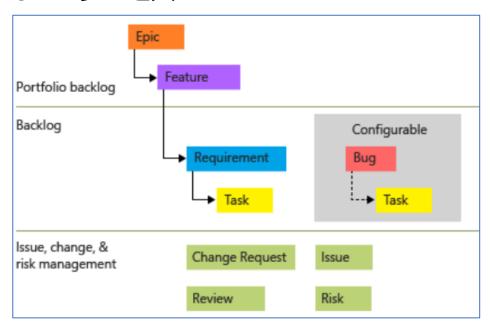
スクラム プロセス



アジャイル プロセス



CMMI プロセス

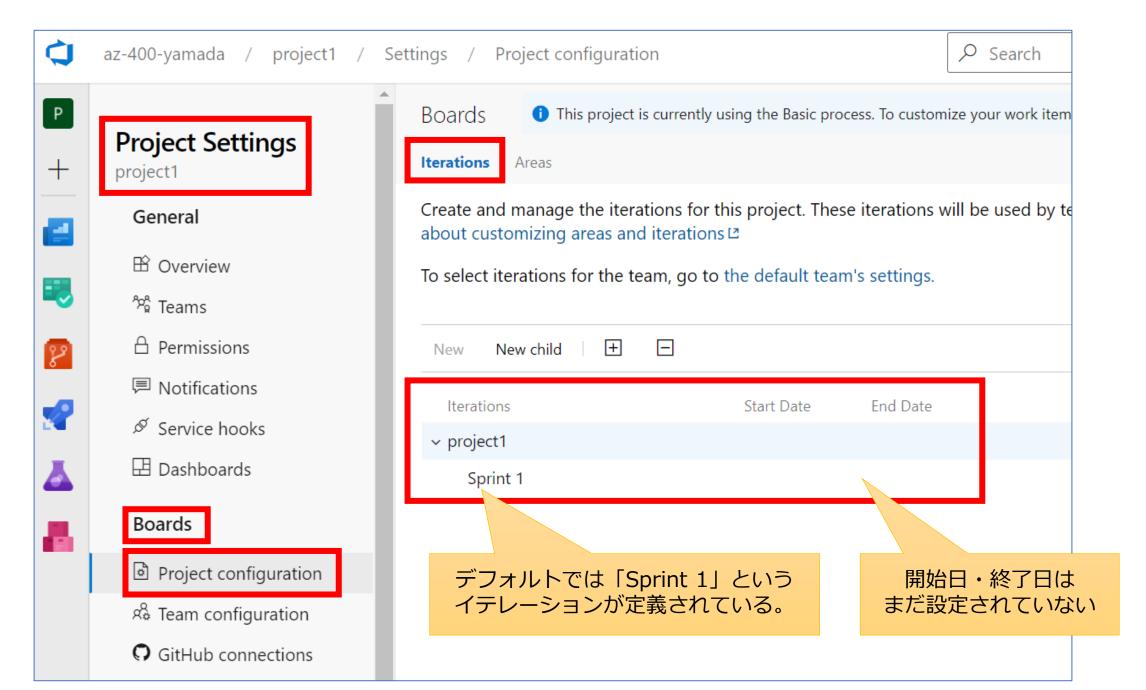


イテレーションの定義

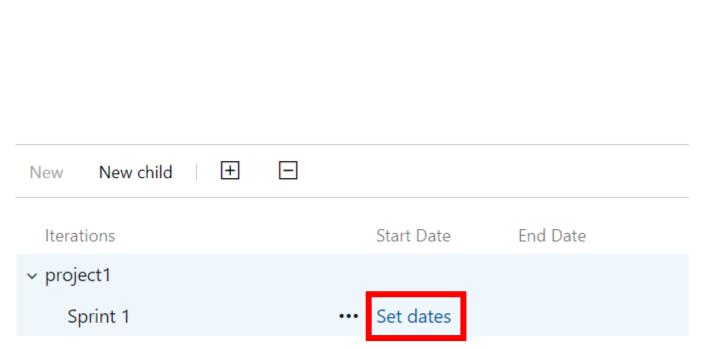
プロジェクトのイテレーション(2週間程度の期間)を定義。

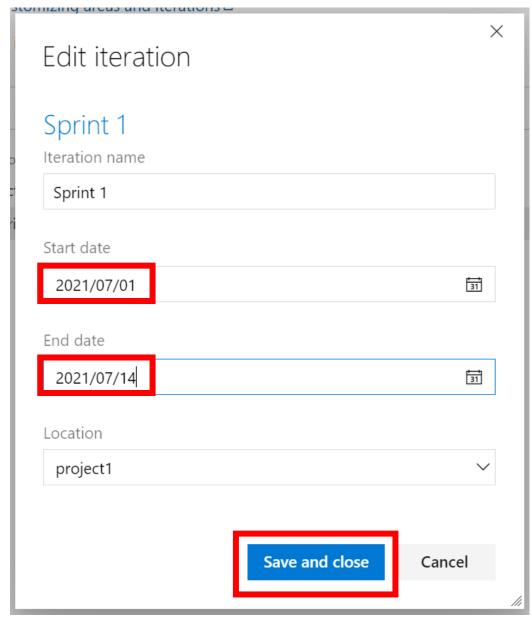
イテレーションには「Sprint 1」「Sprint 2」といった名前を付けることが多い。「イテレーション」=「スプリント」と考えて良い。

プロジェクトで使用するイテレーションの設定

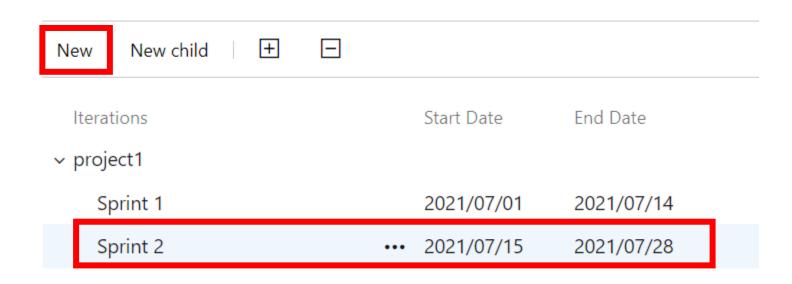


イテレーション「Sprint 1」の日付を設定(7/1~7/14の2週間とする)





イテレーション「Sprint 2」を作成(7/15~7/28の2週間とする)

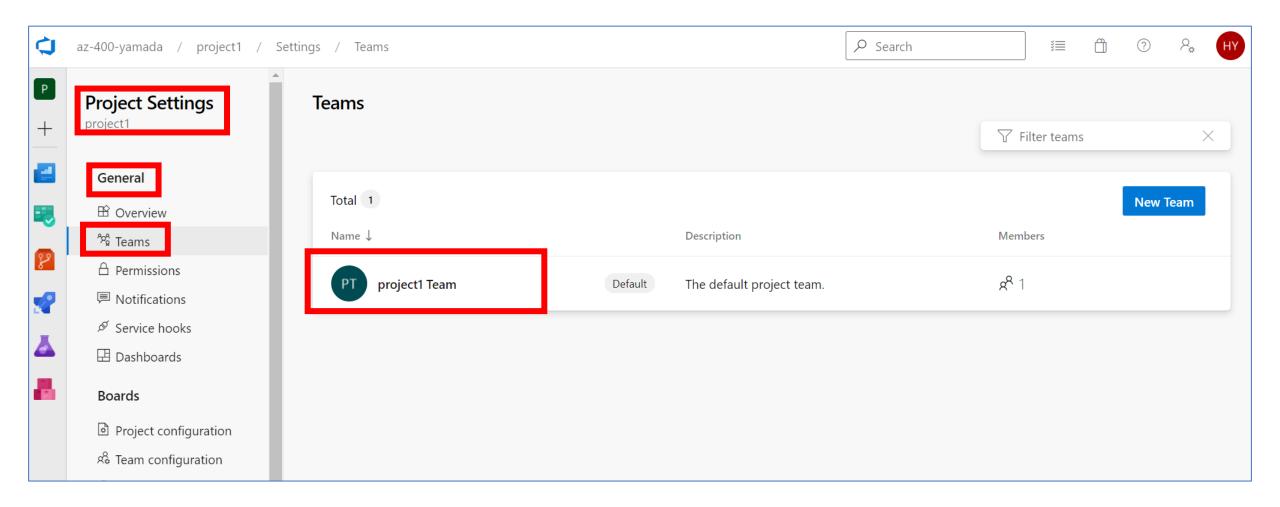


チームでの スプリントの選択

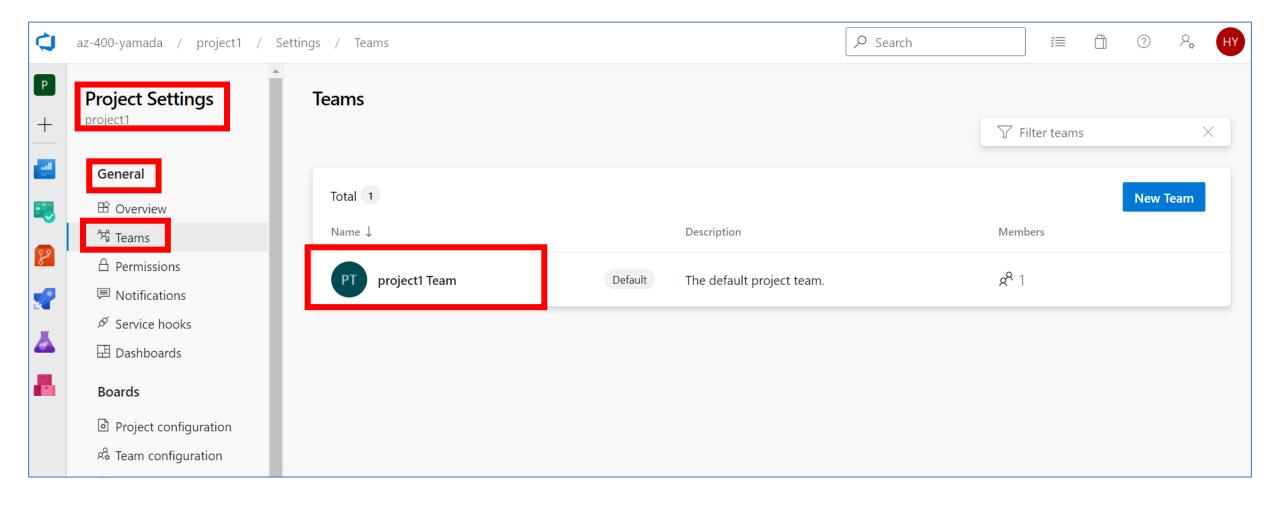
プロジェクトで定義したイテレーション(スプリント)を、 チームで選択する。 まずはプロジェクト内のチームを確認。

デフォルトで、プロジェクト名が付いたチームが作成されている。

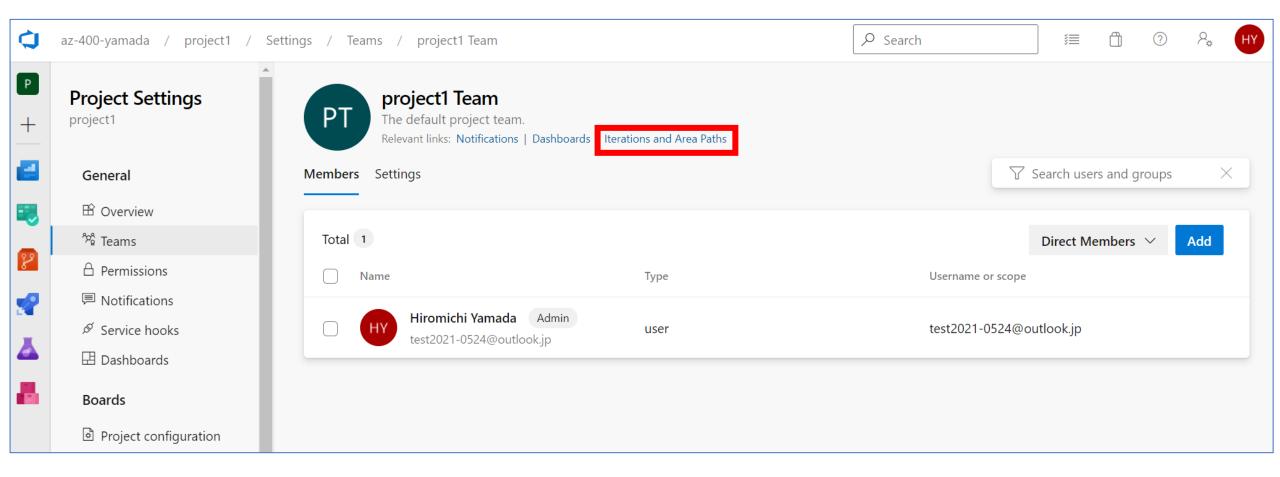
例:「project1」プロジェクトには「project1 Team」がある



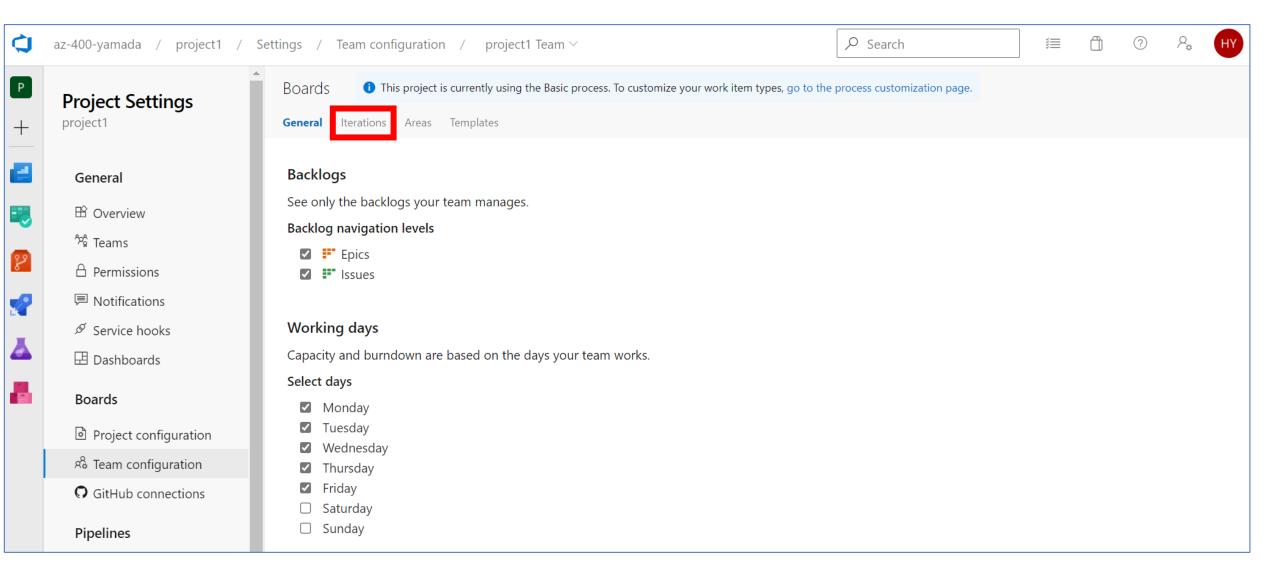
デフォルトのチームをクリック。



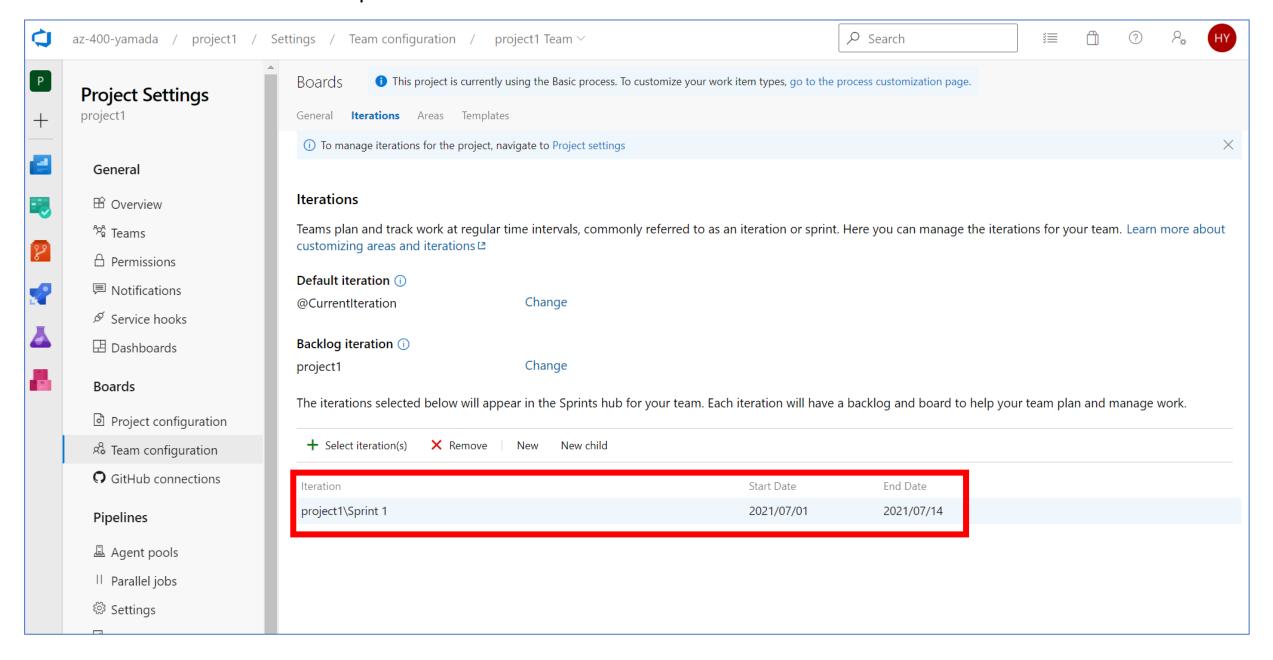
このチームが使用する「イテレーション」(スプリント)を選択する画面を表示



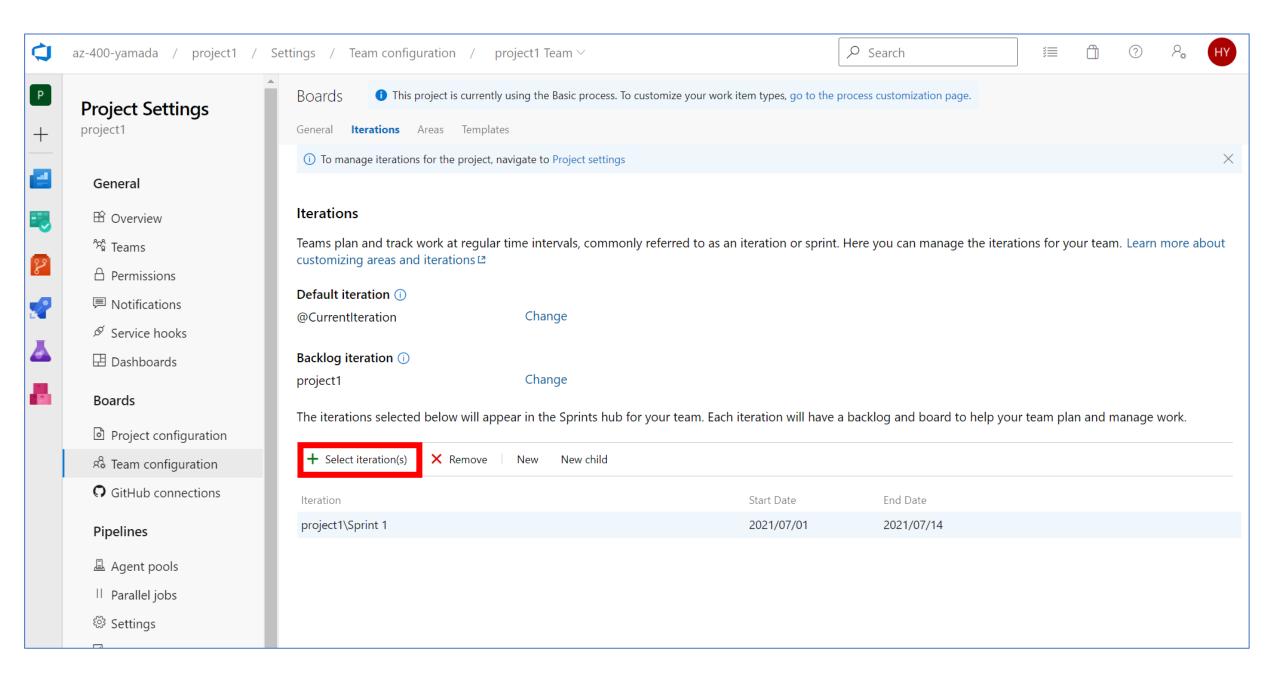
(画面はBoards以下のTeam configurationへ移動する) 「Iterations」をクリック。



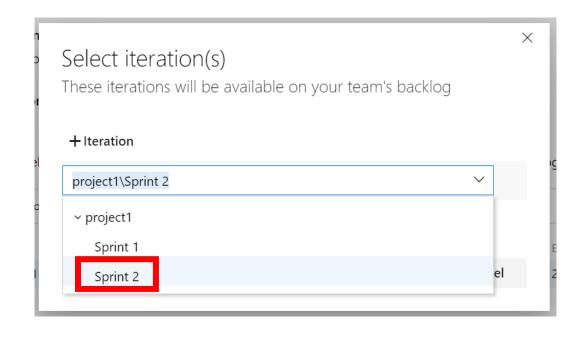
初期状態では、このチーム(project1 Team)が使用するイテレーションとして、 デフォルトのイテレーション(Sprint 1)だけが選択されている。

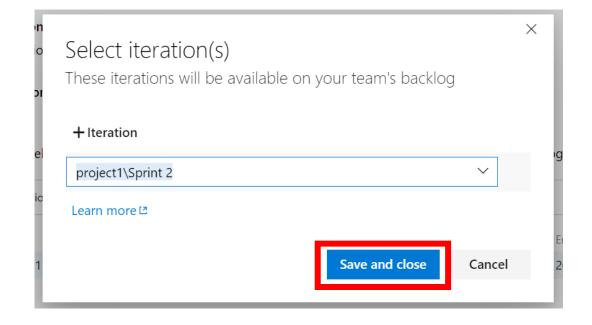


「+ Select iteration(s)」をクリック

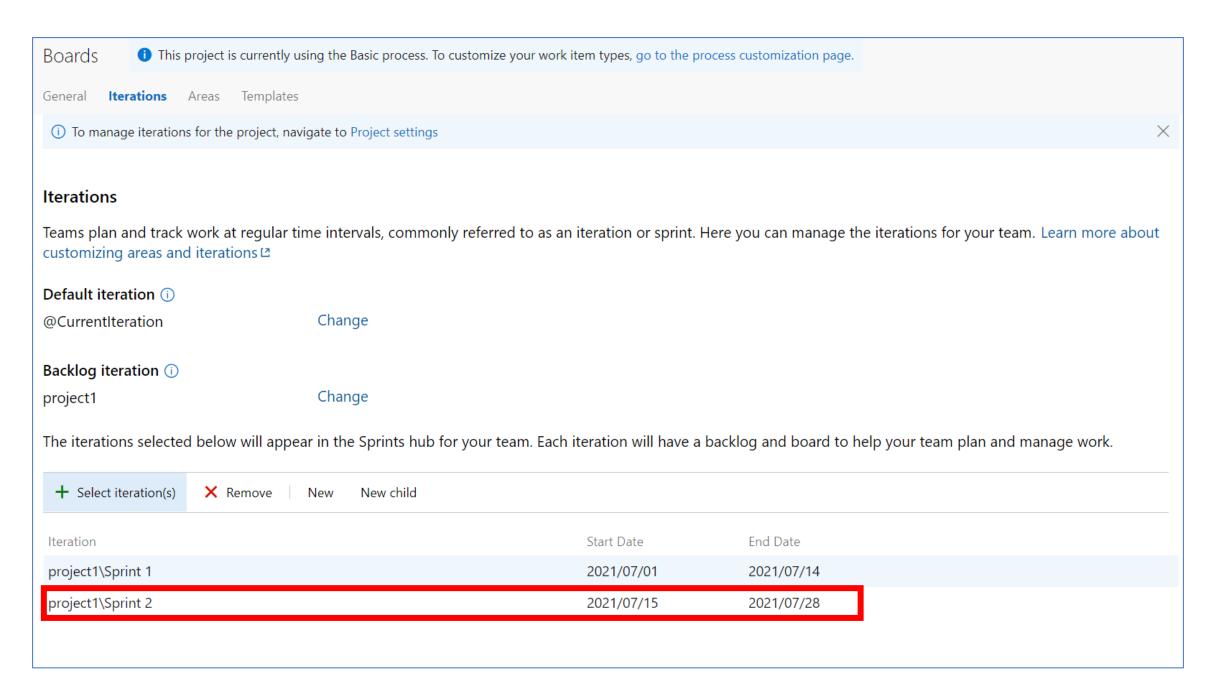


Sprint 2を選択し、「Save and close」をクリック





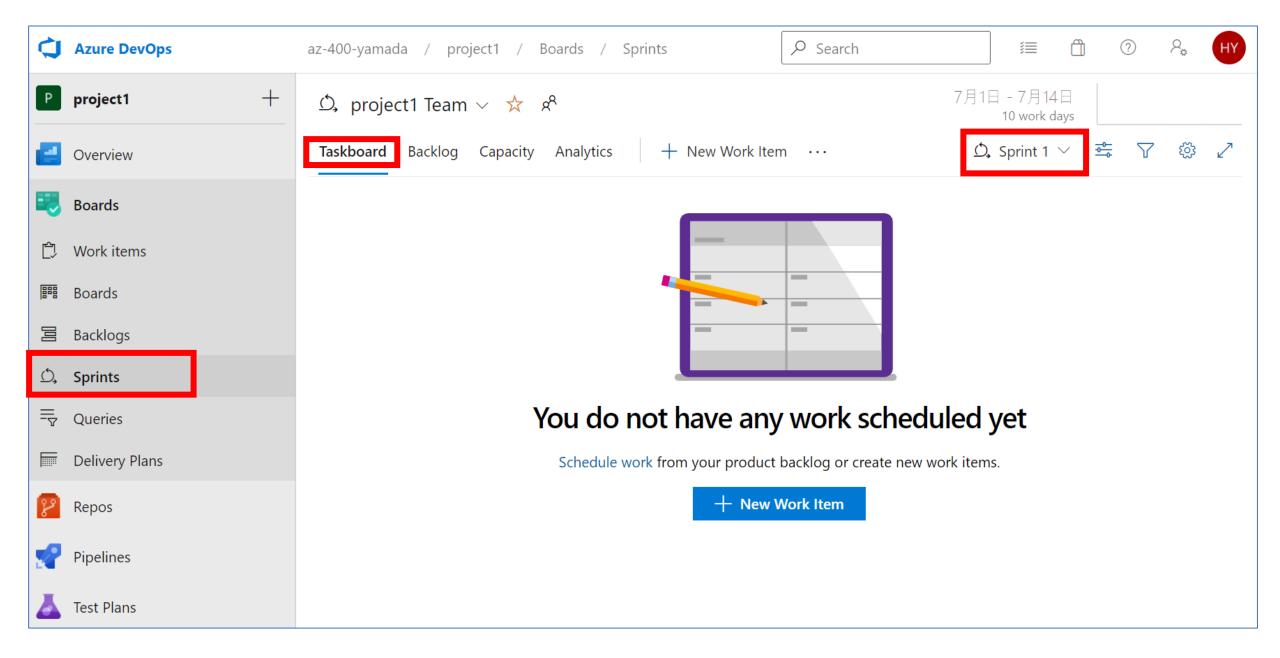
Sprint 2が追加された。



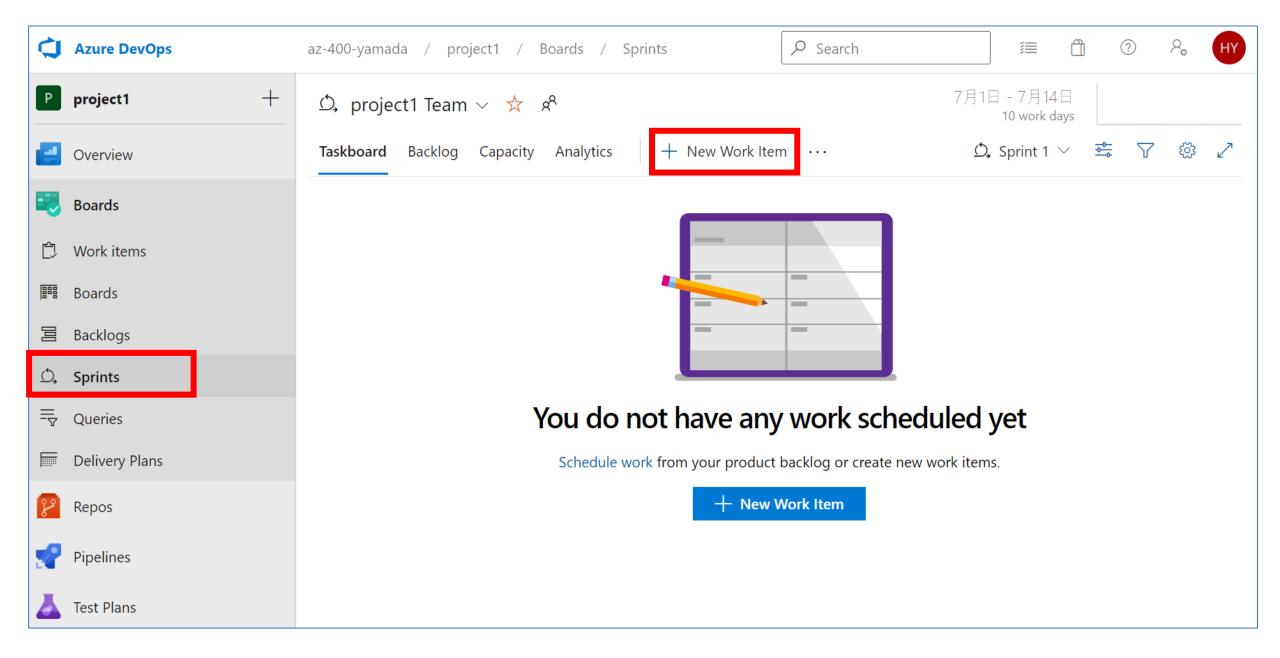
スプリントのタスクボード

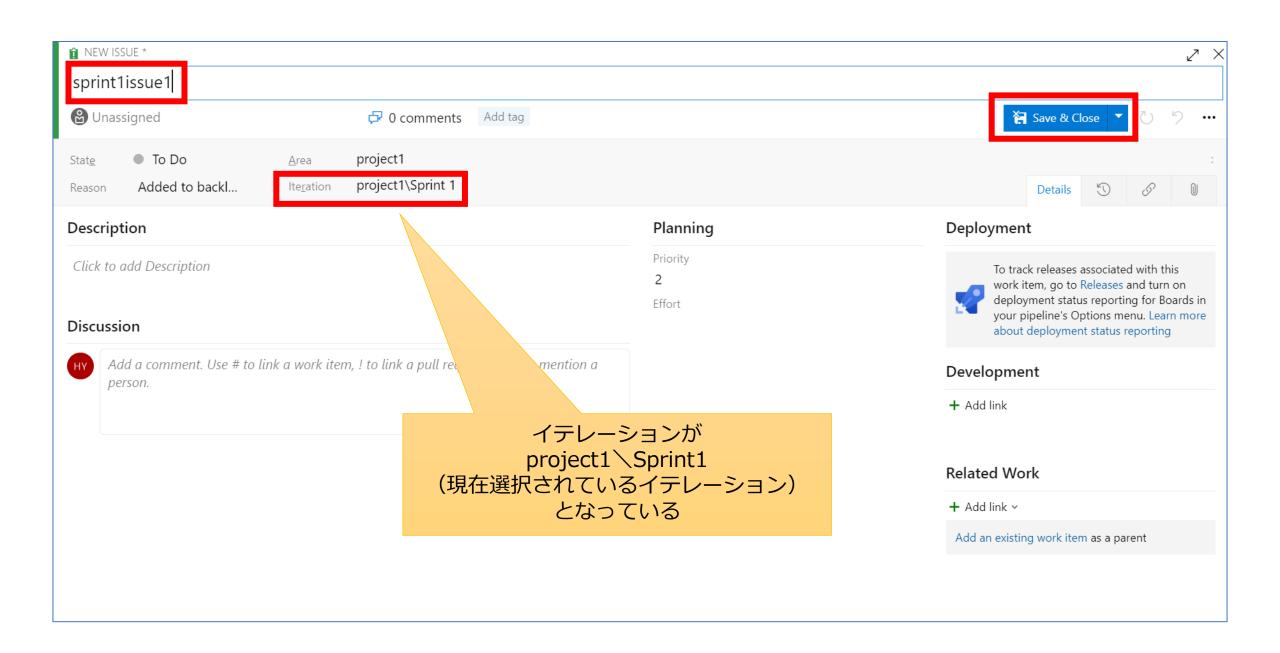
スプリントにイシューを追加。 イシューにタスクを追加。 イシューとタスクの確認、状態の変更

Sprints>Taskboard 画面で、イテレーション「Sprint 1」を選択

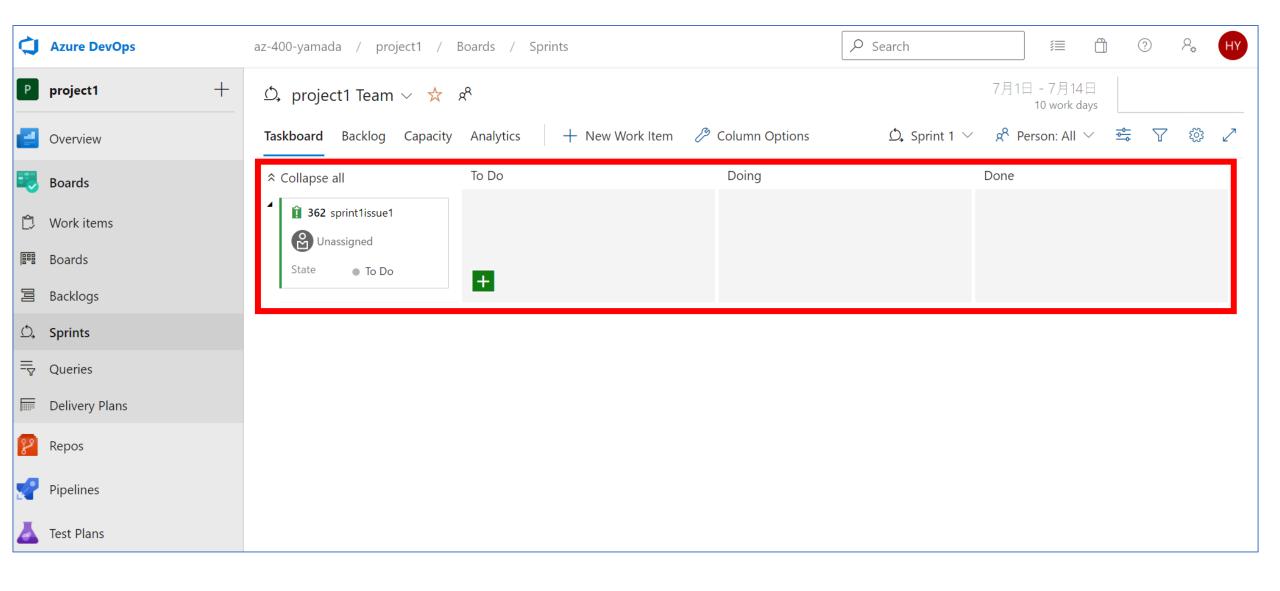


イテレーション「Sprint 1」に、新しい作業項目(イシュー)を追加

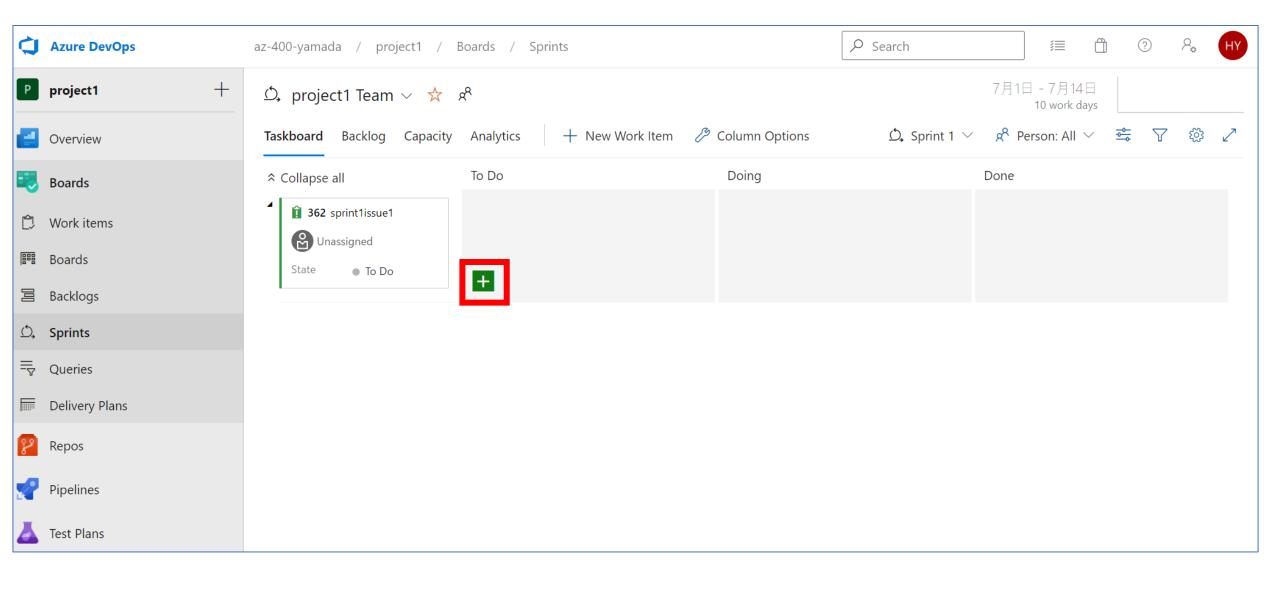




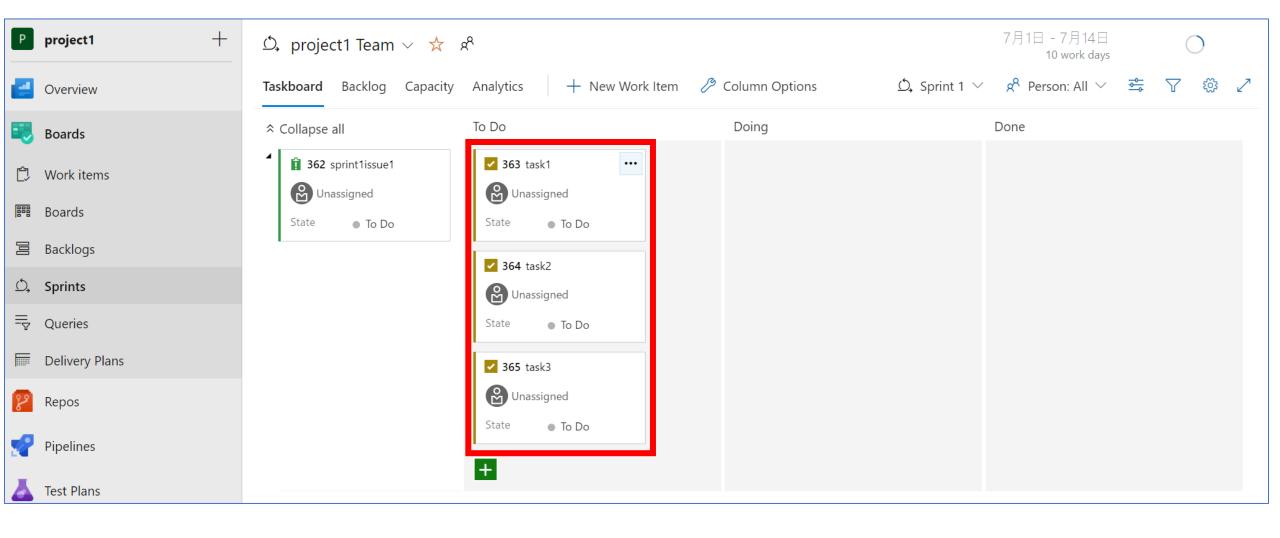
Sprints の画面では、1件のイシューはこのように横長で表示される。



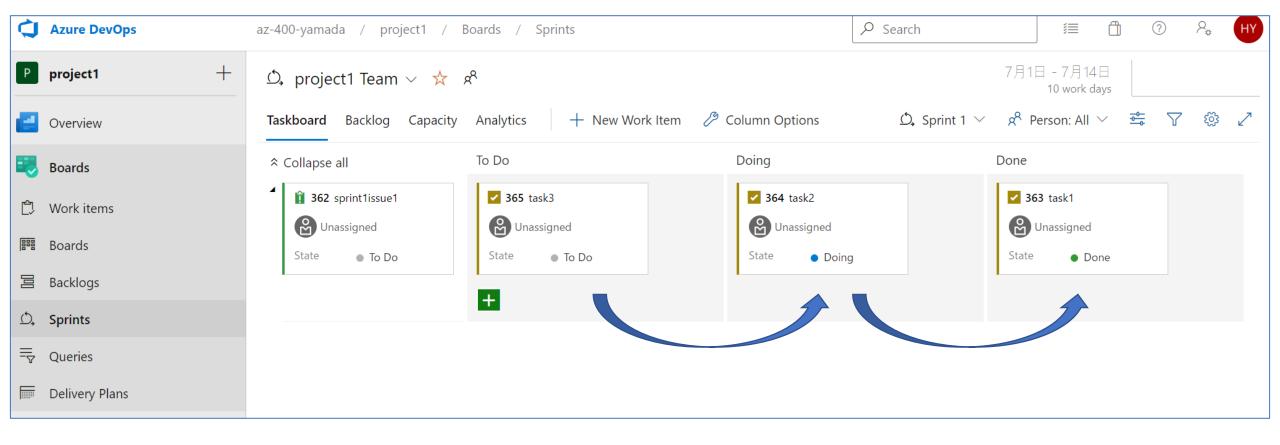
イシューの「To Do」内の「+」をクリックして、イシューにタスクを追加することができる。



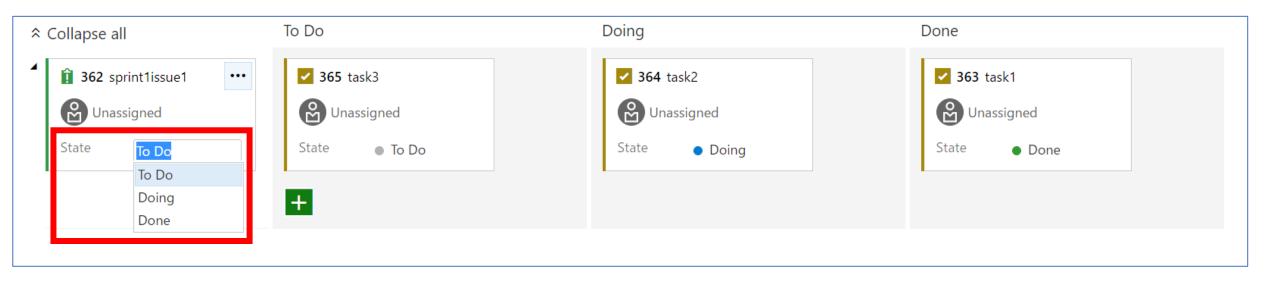
イシューにいくつかのタスクが追加された。

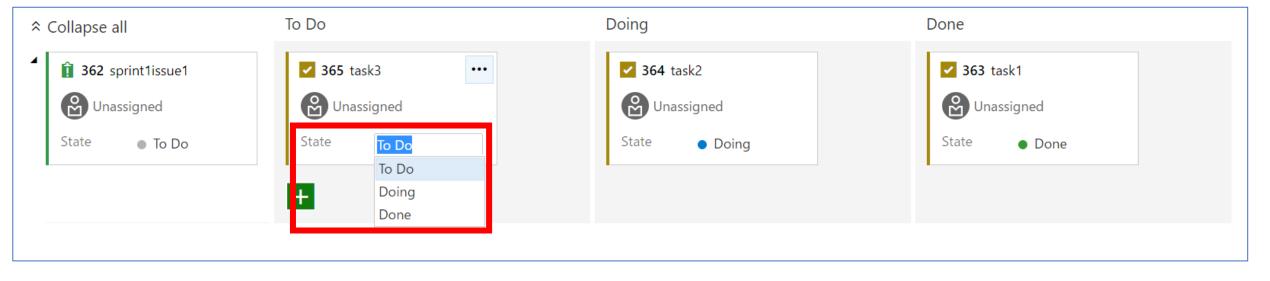


イシュー内のタスクをドラッグ・ドロップして、State(状態)を Doing や Done に変更できる。

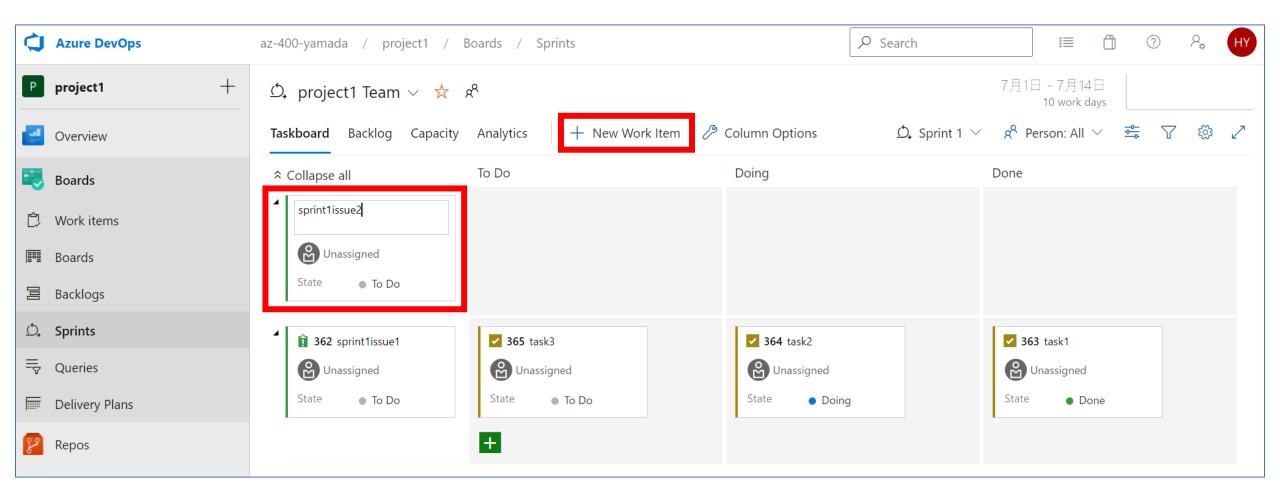


- イシューやタスク内の「State」をクリックして、状態を変更することもできる。 (タスクはドラッグ・ドロップで状態を変更できるが、
- イシューはドラッグ・ドロップできないので、この方法で変更する)





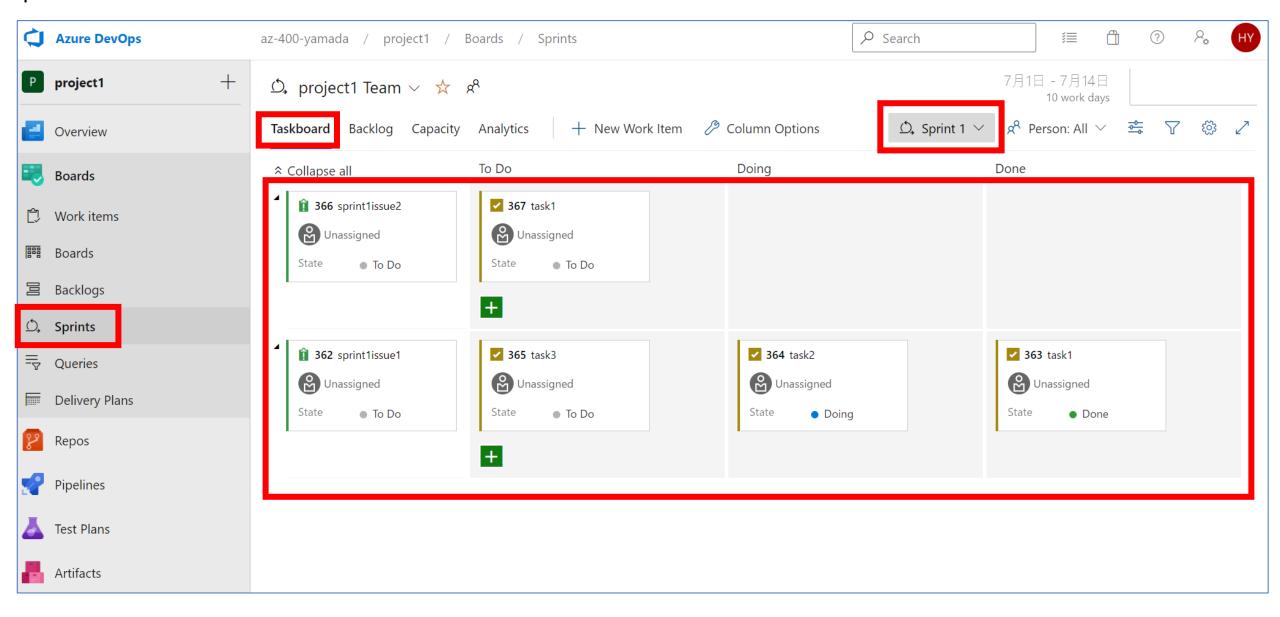
2件目以降のイシューは、このように、Sprints画面の中で追加できる。



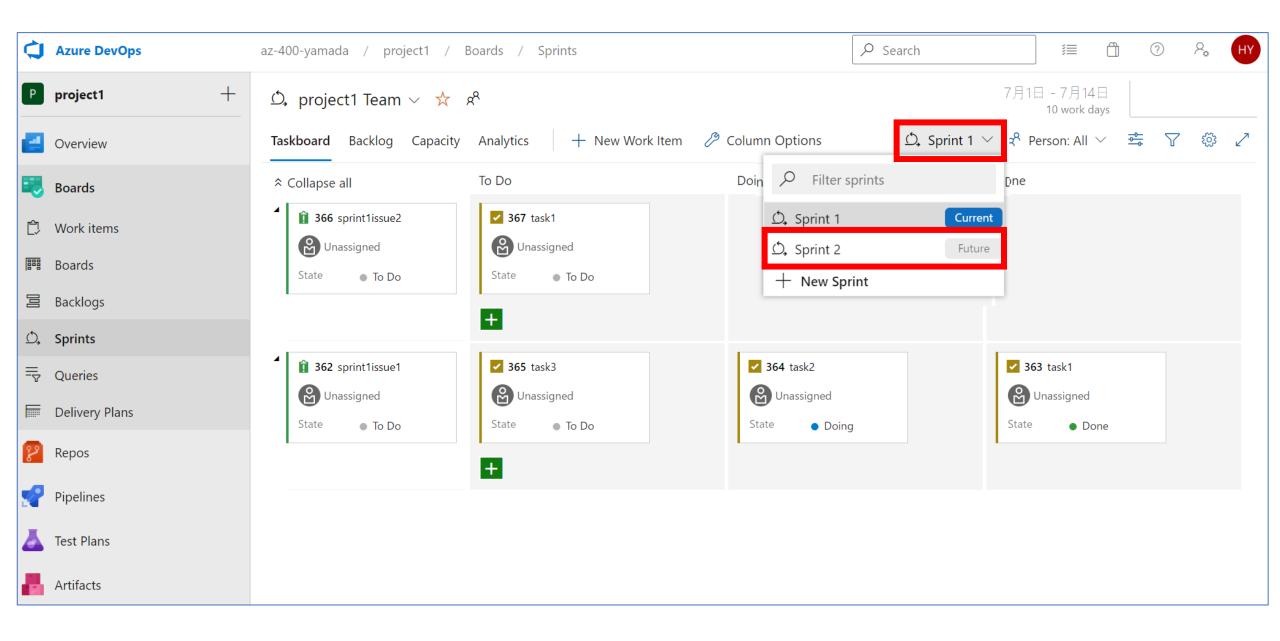
イテレーション (スプリント) の切り替え

スプリントを切り替えて表示する

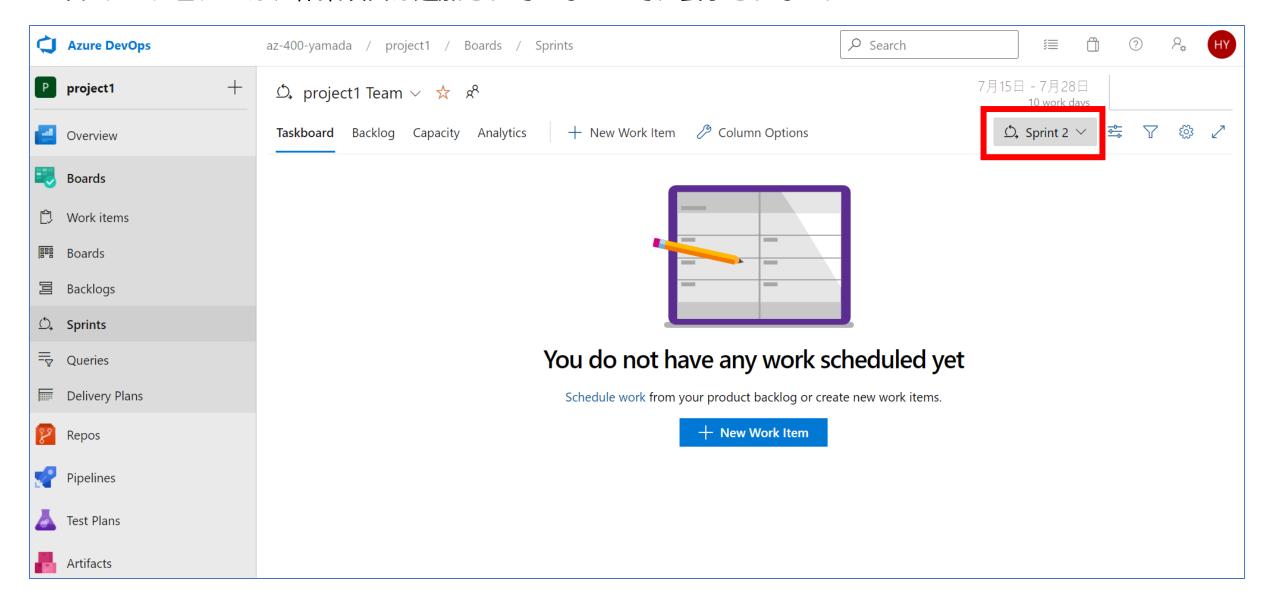
Sprints>Taskboard 画面で、イテレーション「Sprint 1」を選択。 Sprint 1に登録された作業項目が表示されている。



「Sprint 1」をクリックして、プルダウンから「Sprint 2」を選択。



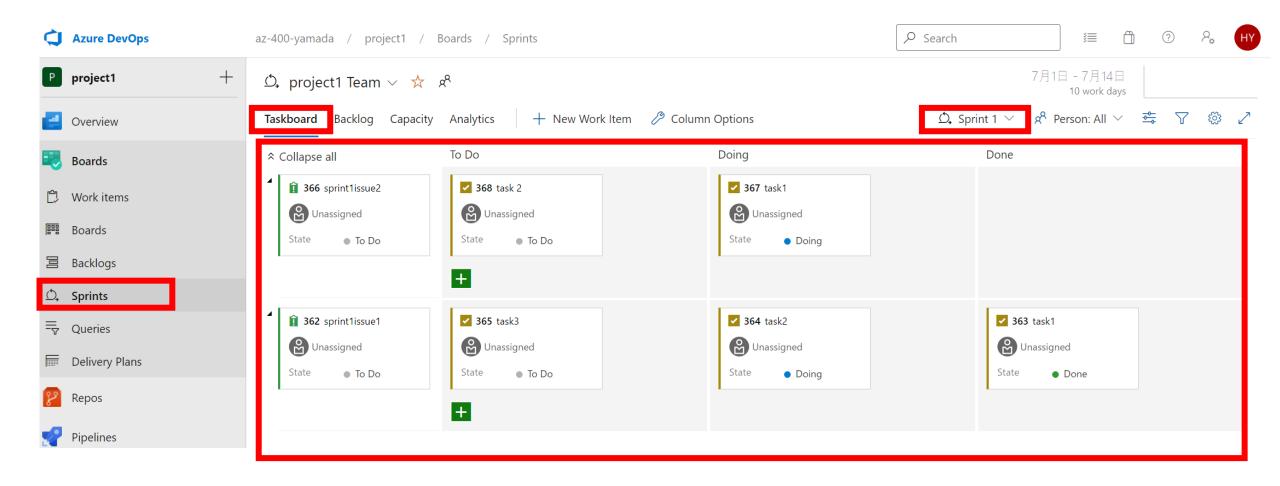
イテレーション「Sprint 2」に切り替えた。 このイテレーションには、作業項目は追加されていないので、表示されない。



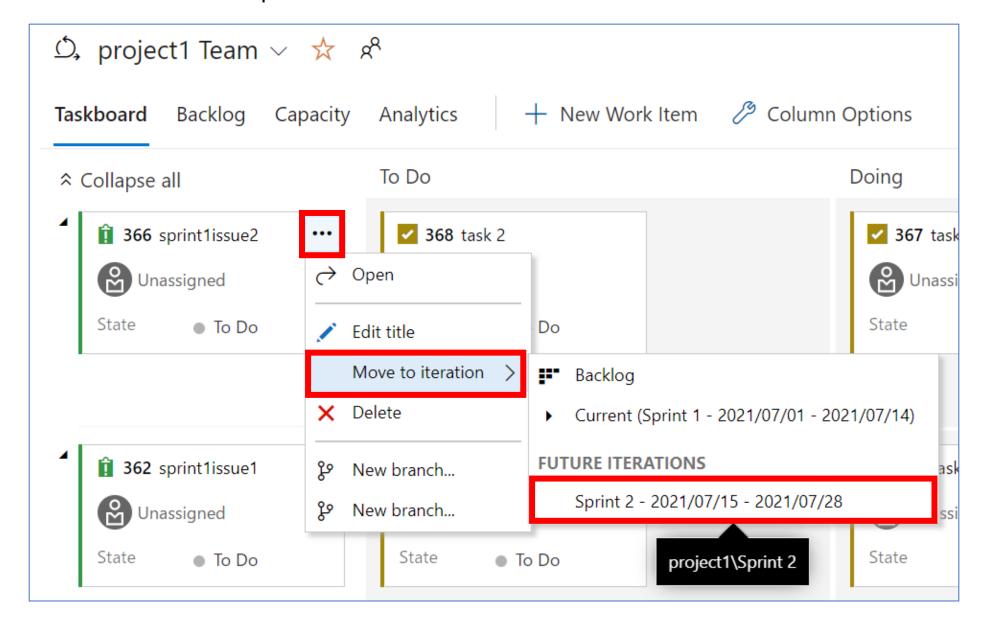
イシューを 別のスプリントへ移動する

イシューの移動が可能

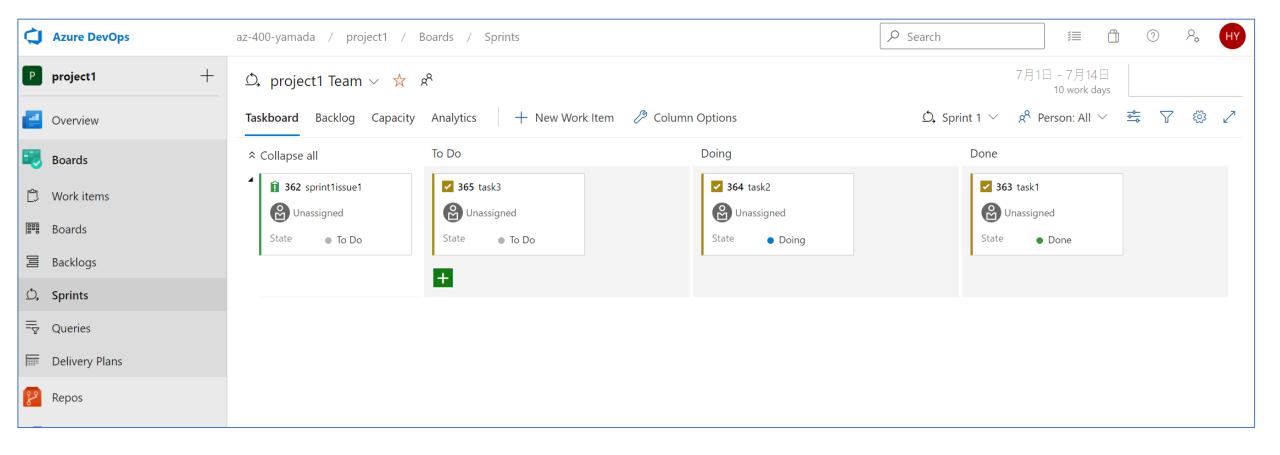
Sprints>Taskboard 画面で、イテレーション「Sprint 1」を選択。 Sprint 1に登録された作業項目が表示されている。



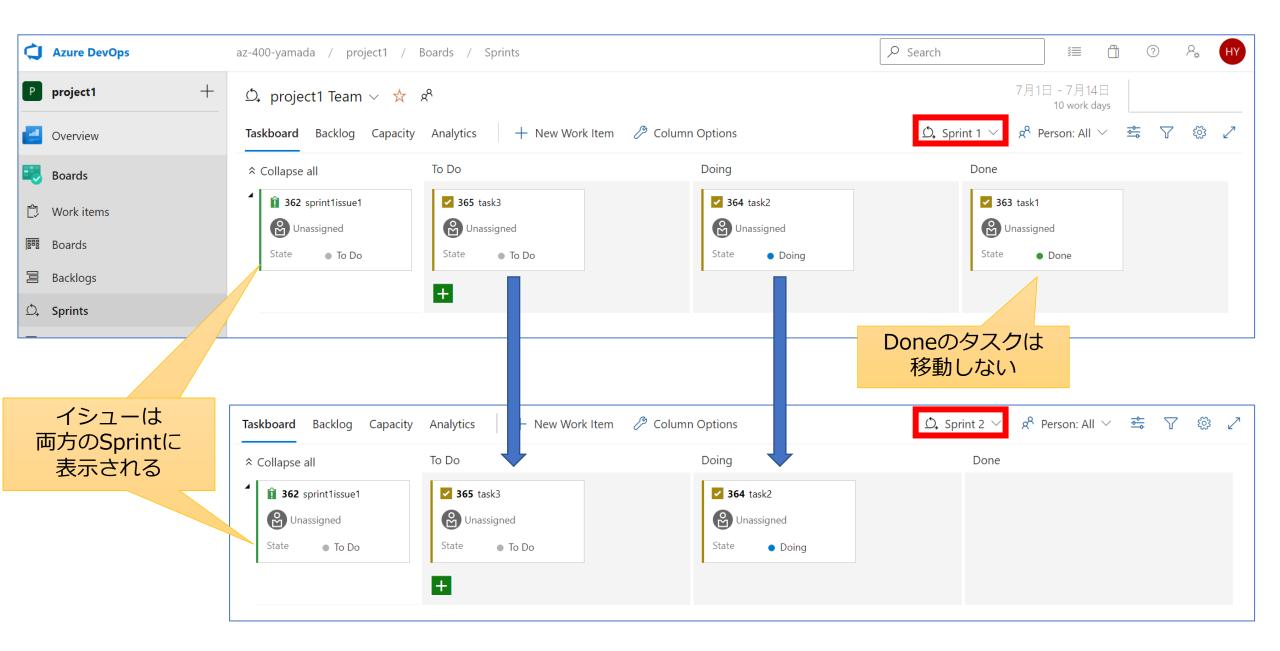
イシュー(この例では、366番)の右上の「・・・」をクリックし、「Move to iteration」で、 移動先のイテレーション(ここではSprint 2)を選択



イシュー(366番)がSprint 2へ移動された。



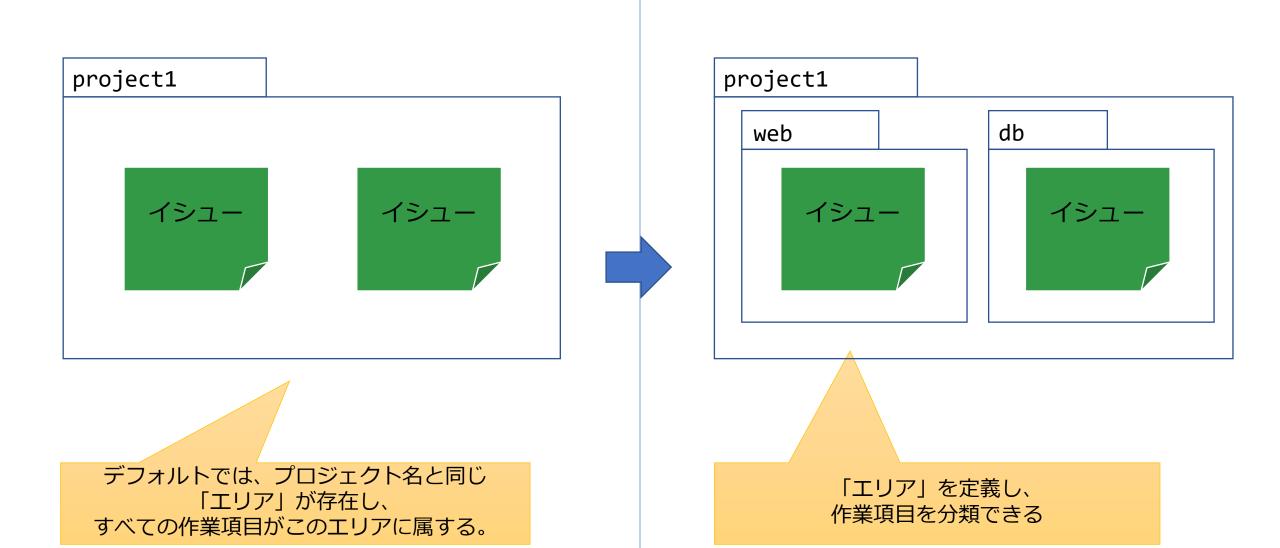
なお、この図のイシューのように、「Done」に設定されたタスクを含むイシューをSprint 2へ移動すると、Sprint 2にも同じイシューが表示され、イシューに含まれるDone以外のタスクがSprint 2へ移動する。



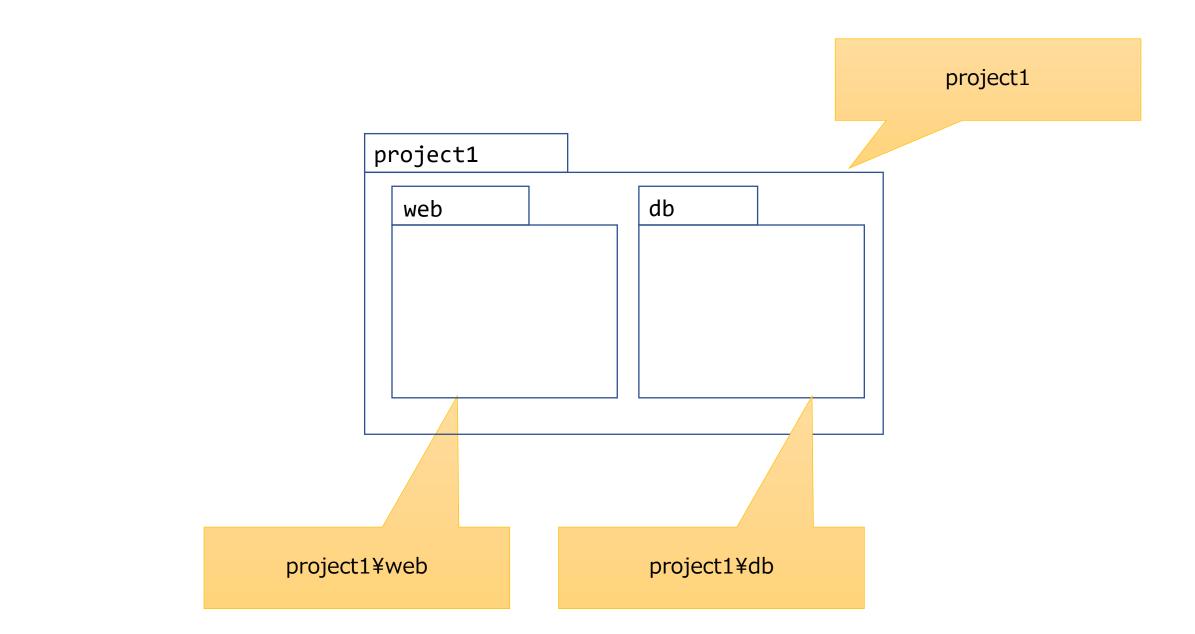
エリア

エリアを定義し、作業項目に割り当てる

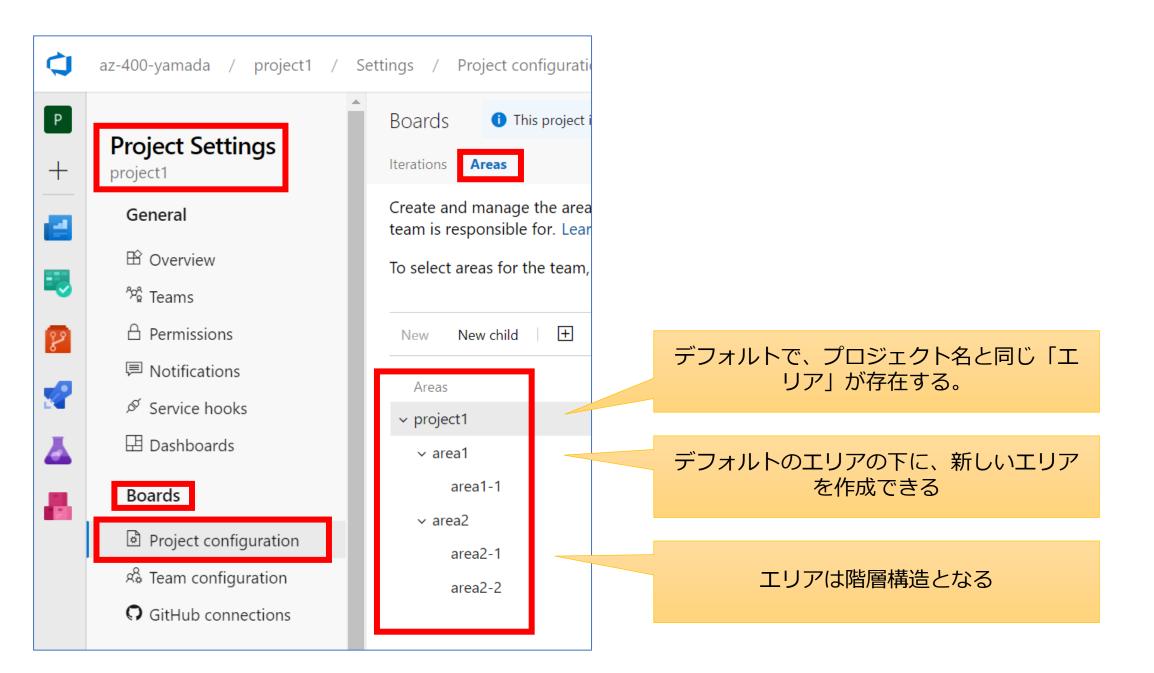
プロジェクト内に「エリア」を作成し、作業項目を分類できる



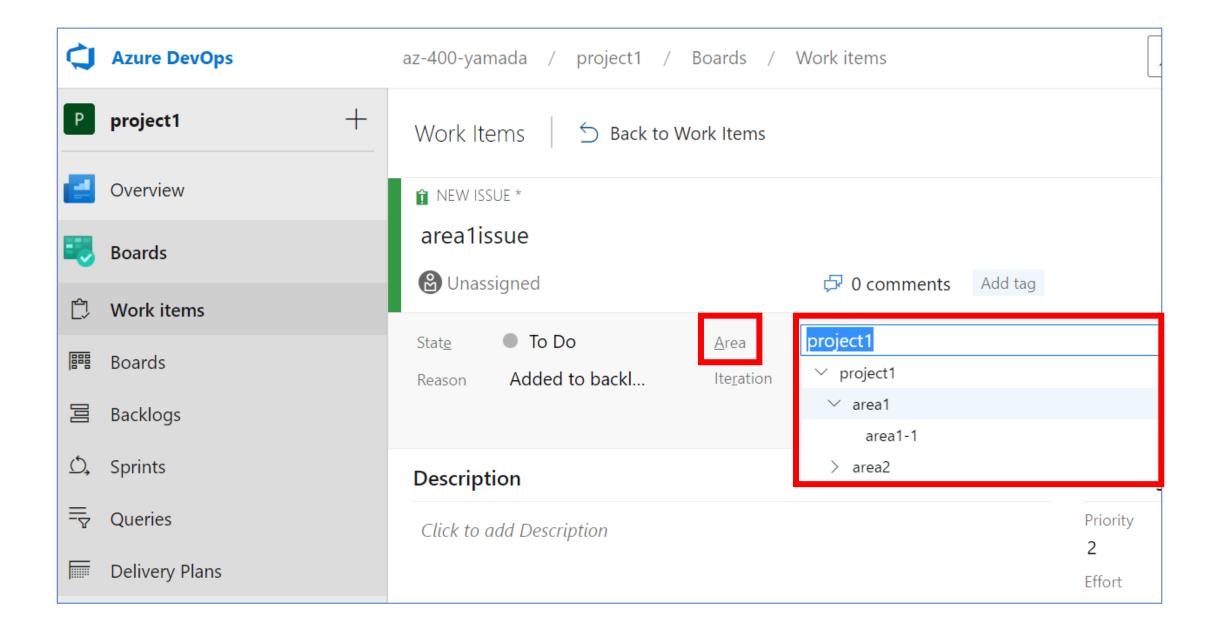
エリアは「¥」区切りの「エリアパス」で表現する。



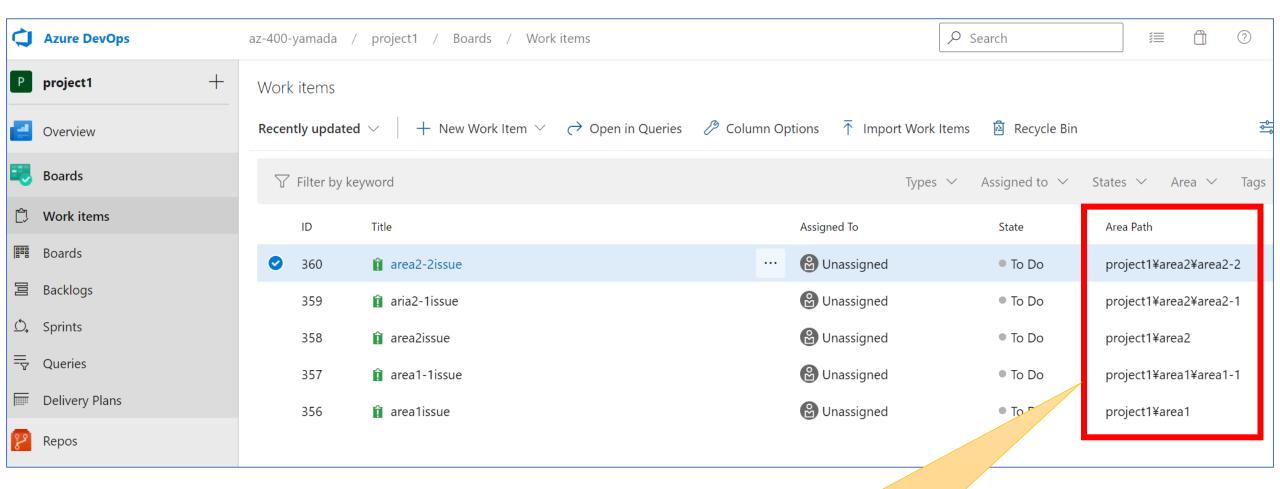
プロジェクトで使用するエリアを事前に定義する



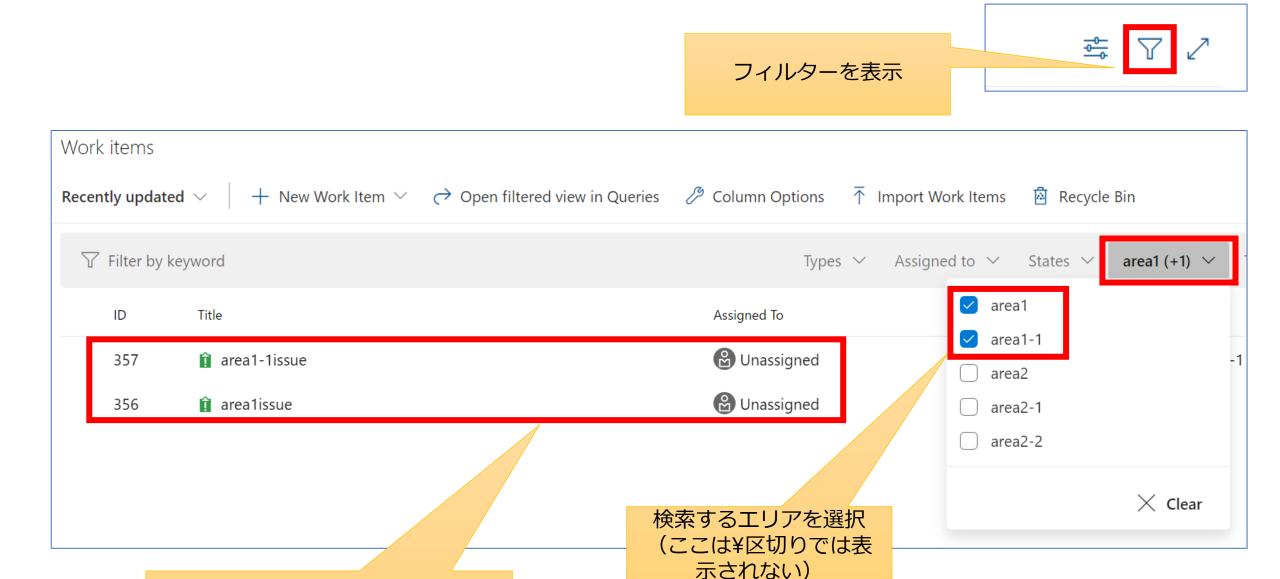
作業項目の作成時に、エリアを指定できる。



作業項目の一覧(Boards > Work Items)では、「Area Path」列に、設定したエリアが表示される。



project1¥area1¥area1-1 のように、エリアの階層構造が パス(¥記号区切り)で表示される フィルターでエリアを指定して、該当する作業項目を検索することができる。



フィルターの条件に一致する 作業項目が表示される